

吉田富三の恩師で、佐々木研究所長の佐々木隆興^{たかおき}博士の長男洋興^{ひろおき}さんは、自分が幼いころの吉田富三について、次のような話をしました。

あれは、私が小学校の四、五年生の頃でした。研究所は自宅の敷地にありましたが、こへの立ち入りは、所長である父からとめられていました。それで、吉田先生の顔は見かけても、親しくお話するということはありませんでした。

その頃、杏雲堂病院の職員間で年に一度、親睦^{しんぼく}を深めるための軟式野球大会をやることになっていました。

この時の試合は、私にとって忘れられない思い出になりました。

